



# Weekly Report

クラブ会長  
テーマ

心のふれあいを求め 和の中から行動を

## 2000-11-15 第486回例会 NO.11-19 2000-11-29 発行

司会 SAA 委員長 平野 行廣

◎点鐘 会長 津守 弘範

◎ロータリーソング「四つのテスト」  
ソングリーダー 菊池 敏

◎お客様紹介 会長 津守 弘範  
東京稲城 RC 秋山 裕造様  
東京みなと RC 高田 和雄様

◎会務報告 会長 津守 弘範  
再度お知らせ

11月22日例会は11月20日IMに変更になります  
全員登録でクラブより例会費を納めてあります。  
欠席なきようお願いします。尚、当日分科会について  
第二分科会は入会3～4年目の会員の方々をお願い致  
しておりますが会場の都合上(約100名)割当があ  
りまして、藤原会員、由井会員、永井会員、福島会員、  
田島会員、桧垣会員以上6名の参加をお願いします。  
他の会員の方々には第一分科会に参加お願いいたします。  
先週配布いたしましたIMのリーフレット当日必ずご  
持参下さい、当日はプログラム改めての配布はござい  
ません。

◎幹事報告 幹事 伊澤ケイ子

- ・10月出席ガバナー事務所に報告しました 91.86%
- ・例会変更事務局へ
- ・東京レインボーロータリークラブより、チャーターナ  
イトのお知らせが来ています。

※ 日時 平成13年2月26日(月)

※ 場所 ホテル日航東京(ペガサス)

東京都港区台場1-9-1

◎ マルチプル・ポールハリス・フェロー表彰  
田中 實会員「3回目」 R財団委員会 根本 泰守

◎ 2001～2002年度 役員理事指名委員会  
横倉 舜三

<クラブ役員及び理事候補者名簿>

会長 足立潤三郎 会長エレクト 小坂 一郎  
副会長 杉山 英巳 幹事 加藤喜三郎  
会計 伊藤 英也 理事 藤本 吉文  
北村 幸彦・村上 久・菊池 敏・杉野志保子

### 【委員会報告】

◎出席報告 出席委員会 福島 達也  
会員総数 45名  
出席義務者数 44名(出席免除者1名)  
出席者数 34名  
欠席者数 10名(事前MU6名)  
出席率 90.91%(40/44)

11/1 最終訂正出席率 93.18%

欠席者 遠藤 二郎・遠藤 立一・藤本 吉文・  
萩生田茂夫・猪股 末男・北村 幸彦・  
村上 久・佐伯 和廣・高村 弘・  
戸田 昭寿

補填MU 遠藤 立一 11/9 東京稲城 RC  
11/15 東京港南 RC  
大松 誠二 11/14 東京多摩 RC  
小坂 一郎 11/7 地区会員増強委員会  
以下は市民相談会

11/3 萩生田茂夫  
11/4 藤本 吉文・猪股 末男  
11/5 遠藤 二郎・村上 久

- 秋山 裕造 (東京稲城RC) お世話になります。
- 津守 弘範 フォーラムにご協力をお願いします。
- 伊澤ケイ子 宮本パネラー宜しくをお願いします。  
勉強させていただきます。
- 海野 栄一 本日はクラブフォーラムです。  
よろしくお願ひいたします。
- 関岡 俊二 三越開店、活気ある多摩センターになる事を祈って。
- 杉山 英巳 誕生祝いを頂きましたので。
- 森田 舞子 当分駐車場の確保大変ですね。
- 足立潤三郎 三越、大塚家具オープンのぞいて来ました、大変な人でした、人が多い事はいいことですね。
- 大松 誠二 10月29日例会100%出席となりましたので、出席委員会として。
- 吉沢 洋景 本日のクラブフォーラム宜しくお願ひします。
- 小泉 博 ガンパッテマス

ニコニコ合計 ¥28,000 (累計¥299,309)

◎ 新世代委員会から、作文募集の発表がありポスター掲示等のご協力要請ありました。

**第一回クラブフォーラム**

(今週の担当 永井 峰子)

- ◎委員長挨拶 R情報委員長 海野 栄一
- ◎パネラースピーチ パネラー 宮本 誠

「決議23～34」の歴史的意義

「これは有名な決議であり、ロータリーの歴史に重大の関係を持つものである。1923年のセントルイス年次大会において決議23～34号として採決されたものであるが、その後1926年のデンヴァー大会決議26～6号等で改定されて今日にいたっている。これが提出された1923年頃にはロータリーの内部で社会奉仕の方針について、個人の奉仕かクラブとしての奉仕か理論派と実行派との間に激しい対立が生じロータリー分裂の危機をさえ招くに至ったのであるが、この決議を採択したことによってその危機も解消して今日のロータリーを築くことに導いたのである。」 - 笹部誠 -

ロータリー活動の本質の表明とされている「23-34 決議」に関連して、ガイ・ガンディガーの「ロータリー通解」は重要な資料である。同書は、上記大議論の初期の頃、ロータリアンにロータリーとは何かを教えるために、RI理論・教育担当委員長であったガイ・ガンディガーによって書かれたものであり、「23-34 決議」の基本にも大き

な影響を与えることになった。  
左記両書の共通点、相違点等の解説の後、関連して質疑応答、意見交換を行った。

—会員プロフィール(第17回)海野 栄一—

略歴を、という事で1965年ごろが..... フツとよぎった。高度成長期の黎明としての東京オリンピック開催の丁度その頃は、様々な“ひずみ”や“矛盾”が吹き出した時代でもあった。それぞれが途惑い、激しく、そして全力で生きた。第2次大戦後世界勢力は二分され、東か西かであり、社会構造も又、階級論争の真っ只中で“労”か“使”か“右”か“左”か“唯物”か“唯心”か、と対立だけが強調され、多様な選択肢は存在し得ない環境であった。否応なく巻き込まれる2極思考の坩堝にあって、口角泡を飛ばし、文字通り身体を張って・・・たった一つしかない真理とやらに向かって対峙しようとしたあの頃を思い起こす。21世紀を目前にしてあの時代は“何だったんだろうか”

“不確実性”を経て、今や“ファジー”“ゆらぎ”が主流である。ピックバン、グローバルスタンダード・・・どうやら、20世紀の既成を壊し、創造を促す“しなやか”な思考が求められる新世紀となりそうだ・・・。

大阪府出身 中学・高校卒業後(大教大付属)上京早大(教)卒業後 書生を経て当初資金30万円で会社起業(24歳～)業歴多岐 就職経験無 5人家族 犬2匹

